

第5検討部会 会議録

会議の名称	第17回 第5検討部会
開催日時	平成20年4月21日(月)18時00分から20時00分
開催場所	川口市職員会館 講座室B
出席者	(部会長)石井副委員長 (副部会長)伊田(昭)委員、豊田委員 (委員)庵地委員、木岡委員、北原委員、椎橋委員、堀委員、山田委員
会議内容	1. 編集委員会について 2. 広報・PIチームの要望について
会議資料	第4回策定委員会提出資料(資料5:第5検討部会)
発言内容	<p>第16回部会の議事録の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・承認 <p>第4回策定委員会結果の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで一緒につくろうという雰囲気になってきたと思う。(部会長) <p>編集委員会について (素案の編集方法、編集委員会のあり方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは全部の資料に目を通し、重複していること、各部会で強調していることを確認する。 ・全部認識してみる。重複しているものを整理する。 ・コンサルの力を借りながら整理をしたらどうか。他の条例も見ながらぬけもれがないかを確認することも必要である。 ・例えば「理念」というような項目ごとに、各部会が何を言っているかを全部出してみる。同じものがあることが重要である。一方で、何が相反しているのかをピックアップする。 ・対立している部分を抜き出し、指摘して欲しい。整理の結果を検討部会になげかけてほしい。そこで議論をすると、50人で作成したということになる。編集委員会で各部会で検討して欲しいことを出して欲しい。 ・概ね皆さんの意見に賛成であるが、編集委員会 部会 編集委員会ということ繰り返すと進みが遅くなる。 ・各部会での表現の差がある。レベルの違いも整理しないとイケない。 ・現段階では、取捨選択をしなくてもいいと思う。すべてを出してみたい。 ・コンサルが入るタイミングが重要である。最初は市民委員の力がやることが重要である。コンサルは後でいい。 ・模造紙で切り張りしてみたらどうか。 ・編集委員会は先へ先へと行きそうだ。どこかで取捨選択が始まる。 ・一度、全体を出し合っけて部会にかけてもらえば、その後は取捨選択することになる。どのような議論で取捨選択をしたかを説明してもらえばいい。

・5/6 の合宿の後に、検討部会を経て、6月に合宿をするということも必要になるかと思う。

・広報PIチームとしては早く広報する案が欲しい。

・前後が逆である。結果でなく過程を広報することでいいのではないか。

(体系)

・骨組みがないと中身は詰められないという議論もある。

・体系については3案位用意してもらい選ぶのではどうか。

・骨組みについてはあとでもいいかと思う。

・まずは「理念のようなこと」、「議会に関すること」のようにグルーピングすることから始めたらどうか。

・専門家として部会長がいるので、骨組みについてはアドバイスを受けたらいいだろう。

(編集方法についての議論のまとめ)

編集委員会5月合宿では5部会の盛り込みたい事項をすべて出して、切り張りなどの方法で、項目ごとにグルーピングを行なう。同じ事項、対立する事項が何かを整理する。この時点では編集委員がやりきる。

その結果を整理し、検討部会で議論して欲しいことを整理する。この整理は事務局も支援する。

検討部会で議論する。体系案についても議論する。

再度、6月合宿を行い、素案を作成する。何を取捨選択したかを説明できるようにしておく。

広報・PIチームへの要望

(第2回広報・PIチーム会議の報告)伊田委員

・4/14に第2回広報・PIチーム会議を行い、今後の進め方について協議した。主な事項としては次のとおりである。

役割：広報、PIの企画立案。運営調整部会に提案。実行は別。

基本方針：一般市民の視点、急ぐものを優先、事務局と協働。

傍聴を可能とする。議事録は事務局で調整する。事務局の担当として広報は松木さん、PIは二俣さん。

広報川口5月号に、自治基本条例に関して1ページで広報。

今後、連合町会長会議、町会長会議で説明。

(提案・要望)

・誰でも聞かれて意見をすると満足する傾向がある。アンケートでも何でも発言する場が必要だと思う。

・興味、関心がない人に広報、参加を求めるのはたいへんである。まずは、興味、関心のある人に訴求するほうがいい。

・漠然と「自治基本条例」についてアンケートで聞いても反応がないだろう。住民投票など関心のある事項に絞って聞いてみたらどうだろうか。

・総合計画では5000通のアンケートを行い、1/3から回答を得た。都市計画課で景観について、郵送と街頭と2種類のアンケートを行なったが、

	<p>結果が異なっていた。対象により回答が異なる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域を支えている町会、PTA、公民館などの会議で説明するのが効果的である。 ・市民パートナーステーションの 270 団体のメンバーに知ってもらうことも重要である。 ・自治基本条例と言う言葉がなじめない。まちの憲法などの言葉の方がわかりやすい。 ・聞きたいことを絞ってこのメンバーで街頭インタビューをやってみたらどうだろうか。 ・学校を通じて、小学校 5、6 年生の宿題にして、親にアンケートをとるとい形でやると、親は回答せざるを得ない。 <p>総合計画との関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川口市では平成 22 年 4 月からの新しい総合計画の策定作業に入っている。現在、策定委員会委員として 2 名公募している。(事務局) ・このままいくと自治基本条例の策定が先行し、それを受けて総合計画が位置づけられる。自治基本条例は市の運営の基本的な枠組みを示し、その下で総合計画は市の施策、事業の計画となるものである。前後関係は合っている。中身のすり合わせはこれからのこととなる。(部会長)
<p>次回以降日程 (予定)</p>	<p>編集委員会合宿、広報・PI チーム合宿 5月6日(火) 10:00～ 第 18 回検討部会 5月28日(水) 18:00～20:00 職員会館講座室 B</p>